



Cisco Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center) 統合

この章では、Cisco Spaces と Catalyst Center の統合について説明します。

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Spaces と Catalyst Center の統合 \(2 ページ\)](#)

概要

Cisco Spaces を使用すると Cisco Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center) と統合できるようになります。これにより、Cisco Spaces を使用して Catalyst Center サイトをモニターできます。



- (注) 現在、Catalyst Center と Cisco Spaces の統合は、自動マップエクスポートとロケーション階層の同期のみに制限されています。この統合では、キャプティブポータルベースの認証機能はサポートされません。

詳細については、『*Catalyst Center* ユーザーガイド』の「Cisco Spaces 統合について」を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/dna-center/products-user-guide-list.html>

前提条件

- Catalyst Center、リリース**2.1.2.3**以上。
- Cisco Spaces : コネクタ を使用してワイヤレスネットワークを Cisco Spaces に接続する必要があります。接続するには、Cisco Spaces ダッシュボードにログインして、[**セットアップ (Setup)**] > [**ワイヤレスネットワーク (Wireless Networks)**] の順に選択します。
- Catalyst Center は、OCSP/CRL を使用した SSL/TLS 証明書の失効ステータスを確認します。TCP 80 は、デバイスおよび他のシステムへのアウトバウンド通信に Catalyst Center によって使用されるポートです。証明書失効ステータスを正常に確認するには、次の URL が直接、および Catalyst Center 用に設定されたプロキシサーバー経由の両方で到達可能である

必要があります。そうしないと、Catalyst Center が cisco.com に接続したときに証明書失効チェックがスキップされます。

<http://validation.identrust.com>

<http://commercial.ocsp.identrust.com>

詳細については、『Cisco Catalyst Center セキュリティのベストプラクティスガイド』の「通信ポート」を参照してください。

Cisco Spaces と Catalyst Center の統合

Cisco Spaces と Catalyst Center を統合するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Spaces にログインします。
- ステップ 2** ウィンドウで [メニュー (Menu)] アイコン (☰) をクリックし、[統合 (Integrations)] を選択します。
- ステップ 3** Catalyst Center [統合 (Integrations)] ウィンドウで、[新規インスタンス (New Instance)] をクリックします。
- ステップ 4** [新しいトークンの作成 (Create new token)] ポップアップウィンドウで、Catalyst Center インスタンス名を入力し、[トークンの作成 (Create Token)] をクリックします。
- 新しいトークンが正常に作成されたことを示す成功メッセージが表示され、そのトークンが Catalyst Center [統合 (Integration)] ウィンドウに表示されます。
- (注)
新しいトークンの有効期間は 2 日間です。
- ステップ 5** [トークンのコピー (Copy Token)] をクリックして、このテナントトークンを Catalyst Center で使用します。
- ステップ 6** Catalyst Center にログインします。
- ステップ 7** [メニュー (Menu)] アイコン (☰) をクリックし、[システム (System)] > [設定 (Settings)] を選択します。
- ステップ 8** [CMXサーバー/Cisco Spaces (CMX Servers/Cisco Spaces)] をクリックします。
- ステップ 9** [CMXサーバー/Cisco Spaces (CMX Servers/Cisco Spaces)] ウィンドウの Cisco Spaces セクションで、[アクティブ化 (Activate)] をクリックします。
- ステップ 10** [Cisco Spacesの統合 (Integrate Cisco Spaces)] ポップアップウィンドウで、テナントトークンを貼り付け、[接続 (Connect)] をクリックします。
- Cisco Spaces で統合が完了すると、次の成功メッセージが表示されます。「*This cluster is integrated with Cisco Spaces successfully* (このクラスタは Cisco Spaces と正常に統合されました)」。ステータスは [アクティブ化 (Activated)] と表示されます。

Cisco Spaces トークンをアクティブにした後、Cisco Spaces を Catalyst Center サイトに割り当て、それらのサイトのモニターを開始できます。詳細については、「[Catalyst Center ユーザーガイド](#)」を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。